

1 テーマ

「思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり～『主体的・対話的で深い学びを通して～』」

2 単元(題材)

〔地理的分野〕 第1部 世界のさまざまな地域 第3章 世界の諸地域 1節 アジア州 3 経済発展を急速こけた中国

〔歴史的分野〕 第2部 古代国家の成立と東アジア 第2章 東アジアの中の倭(日本) 3 鉄からみえるヤマト王権

〔公民的分野〕 第2部 私たちと民主政治 第4章 住民として地方自治について考えよう 3 地方行政と現状と課題

3 学年

第1学年(地理・歴史)・第3学年(公民)

4 学習指導要領との関連

第2章 第2節 第2〔地理的分野〕 2内容 (1) ウ 世界の諸地域

世界の諸地域について、以下の(ア)から(カ)の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。

(ア) アジア (イ) ヨーロッパ (ウ) アフリカ (エ) 北アメリカ (オ) 南アメリカ (カ) オセアニア

第2章 第2節 第2〔歴史的分野〕 2内容 (2) 古代までの日本 ア

世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとのかかわりなどを通して、世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。

第2章 第2節 第2〔公民的分野〕 2内容 (3) 私たちと政治 イ 民主政治と政治参加

地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。また、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めさせる。さらに、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに、民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせる。その際、選挙の意義について考えさせる。

5 実践に向けての課題意識

一つは、市の学校教育研究会中学校社会科部会では、平成23年度に県公立中学校社会科研究大会を開催したが、その時の研究テーマが「思考力・判断力・表現力等を育てる社会科の学習～地域の形成者をめざす授業づくり～」であり、それを継続して現在も研究を行っていることにある。

もう一つは、「平成31年度全国学力・学習状況調査の本市の調査結果について(中学校)」(市教委令和元年10月)に、「学習に関する基礎・基本の定着や基本的生活習慣や学習習慣の確立に関して成果が見られるものの、思考力・判断力・表現力の育成に関する課題が明らかとなりました。」と明記されているが、これは各中学校の定期テストの結果から見ても、依然としてあてはまるからである。

そこで、新学習指導要領における資質・能力を育むための授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」に立って、それらの能力を高めたいと考え、実践を行った。

なお、「思考力・判断力・表現力」については、本部会では次の認識に立って、実践・研究を行った。

- ・思考力→「社会がわかる」ための問題「なぜ、どうして」を解決していくことができる力
- ・判断力→「社会に生きる」ための問題「どうしたらよいか、どの解決策がより望ましいのか」を解決していくことができる力
- ・表現力→ 解決した情報を発信していくことができる力

(小原友行著『「思考力・判断力・表現力」をつける社会科授業デザイン～中学校編～』より)

6 実践の概要

実践にあたっては、市内全中学校でテーマを共有して、提案する分野を分担するとともに、授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」を意識して実践することとした。

また、各分野において「単元を通した問い」を設定し、社会的な事象の意味や関連を考えやすくし、思考力・判断力・表現力を高められるようにした。

7 成果と課題

〔地理的分野〕

成果 ・生徒たちが主体的に学べるように自作の資料を提示して読み取らせるように工夫したことで、学習課題を捉えやすくなり、理解が深まることにつながった。

・単元を通した問い「経済発展に伴い、人々の生活はどう変化したのだろうか」を設定して、対話的な学習の流れができるようにしたり、班での話し合いの場面を設定したりすることで、生徒たちが自らの意見を持ち他者と交流する中で、新たな認識を作り出せるようになり、思考力・判断力・表現力を高めることができた。

課題 ・資料の読み取りやその内容を文章化することに時間がかかってしまう生徒が多くいたため、例を示すなどの工夫が必要であった。

〔歴史的分野〕

成果 ・単元を通した問い「“国”はどのようにつくられていったのか？」を設定したことで、資料から読み取った農業、鉄の加工技術等、多面的な視点で国の成り立ちを捉えることができ、自分の考えをまとめて表現する力の育成ができた。

・グループ活動では、他者と同じ考えでも表現の仕方に違いがあることに気づき、解釈の幅を広げている様子が見られ、思考力・判断力・表現力の育成につなげることができた。

課題 ・歴史の流れを捉えることが苦手な生徒にとっては、まとめを書き上げることが難しかった。

・単元をまとめることが難しい生徒には1時間ごとの振り返りシートを用意できればよかった。

〔公民的分野〕

成果 ・単元を通した問い「市の財政って大丈夫かな？課題って何？」を設定し、生徒らが住む地域の財政を扱ったことで、市の財政状況に興味・関心をもつことができた。

・グラフ統計の資料を見て自分で考え、分析結果としてまとめ、それを発表させることで、一人では考えつかなかった市の課題や将来像について考えることにつながり、思考力・判断力・表現力を高めることができた。

課題 ・他者との共有に満足してしまい、内容が十分に深まらない生徒がいた。

・グループ活動を取り入れているが、ルールが徹底できていないところもあり、取り組み姿勢に問題があった。

〔全体にかかわって〕

・授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」を意識した取組をすることで、各分野の中で思考力・判断力・表現力をそれぞれ高めることにつながった。

・各分野において「単元を通した問い」を設定することによって、社会的な事象の意味や相互の関連を深く考えることにつながった。

〔今後に向けて〕

・授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」を常に意識して今後も授業を実践し、生徒の思考力・判断力・表現力を高めるとともに、公民としての資質・能力の基礎を育んでいきたい。